

# みんなで作ろう！セーフコミュニティちちぶ

## 子どもの安全対策委員会取組み報告 (平成30年度)



国際認証都市  
セーフコミュニティちちぶ

発表者: 委員長 川田哲也  
所属: PTA連合会

# 子どもの安全対策委員会の構成

区分	団体・組織名	委員数
住民組織 (6)	秩父市町会長協議会	1名
	秩父市民生委員・児童委員協議会	1名
	PTA	4名
	私立幼稚園連合会	1名
教育機関 (5)	学校	3名
	保育所	6名
行政機関 (6)	秩父警察署	1名
	秩父市（こども課、保健センター、教育研究所、公募職員）	7名

# 子どもの安全対策委員会 地域診断による課題の整理

課題1 子どもはケガが多い  
○学校・保育所・幼稚園や家庭内でのケガが多い  
○中学生は特に部活動でのケガが多い

方向性  
1

課題2 子どもの自転車運転中の外傷が多い  
○交通安全マナーが悪くなっている（委員の主観）  
○自転車の事故が多い

方向性  
2

課題3 ネットトラブルの増加  
○スマホによるいじめが増加している（心配）

課題4 いじめ認知件数の増加  
○いじめの認知件数が増加している

課題5 地域のつながりが希薄になっている  
○地域活動に参加していない保護者が多い

方向性  
3

# 取組み 1 : 校内安全マップの作成

## 1 活動実績

花の木小学校、南小学校、秩父第二中学校 (ISS推進校3校) で実施ISS委員会 (小:保健委員 中:生徒会・各委員会委員長・各部長) が中心となって活動中

2016年度 地域やPTAの協力の元、危険箇所の追加や見直しを実施

2017年度 ISS推進校でマップの作成

2018年度 ISS再認証



## 2 評価

児童・生徒が主体となって、ケガの予防に取り組むようになった。

⇒2017年度ISSアンケート

マップの作成により、安全意識が向上したと感じている生徒 89.8%  
(第二中学校)

マップの危険箇所を把握し、危険な行動をしない児童 95%  
(南小学校)

# I S S 推進校3校におけるケガの発生件数

単位：件数

	秩父第二 中学校	花の木小学校	南小学校
2015年 H27	326 (62)	1176 (21)	405 (4)
2016年 H28	305 (55)	1182 (24)	351 (6)
2017年 H29	322 (46)	1001 (26)	506 (11)

※ ( ) 内の数字は、日本スポーツ振興センター災害給付データ

I S S 推進校3校のケガの件数は、増減を繰り返している。

# 取組み2：安全点検の実施

## 1 活動実績(2014年から開始)

全運動部すべてで安全点検(月2回)を実施

## 2 評価

生徒自らが作業を行うことにより、安全に対する意識の向上やケガの予防につながっている。

⇒2017年度ISSアンケート(秩父第二中学校)

・部活動での安全点検を行うことで、

安全意識が向上したと考える生徒 96.8%

・部活動での安全点検を実践する生徒 100%



# 取組み3：安全指針の策定

## 1 活動実績(2014年から開始)

秩父第二中学校のすべての部活動で実施

## 2 評価

- ・教師と生徒と一緒に安全指針を策定した。  
各自がケガの予防を意識するようになった。

⇒2017年度ISSアンケート(秩父第二中学校)

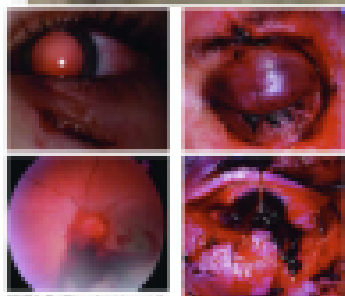
- ・準備運動などの指針を守ることで、その大切さを理解している生徒 95.7%
- ・安全指針を実践する生徒 100%



# 部活動でのケガを予防する

## フェイスガードの着用（野球部）

スポーツ外傷：自打球で眼の傷害



ProjectName	Vel (km/h) before foul tip	Vel(km/h) after foul tip
Proj002	103.78	42.9937

2000x30x40   球と眼の距離(mm)	打球の速度(km/h)	球の質量(g)	
Proj002	103.087	42.9937	5.026



地域と連携した科学  
(秩父市中学校協働)





# 取組み4：ヒヤリハットの作成

## 1 活動実績

2013年度	保育所内の情報収集
2014・2015年度	保育所間の情報共有及び危険個所の改善
2016年度	ケガの発生状況のデータベース化（試験運用）
2016・2017年度	全ての公立保育所（5園）でヒヤリハット集作成 週1回園内情報共有会議、 月1回各公立保育所間情報共有会議
2017年度	<u>子どもに危険予測学習を開始</u>

## 2 評価

ベテラン保育士の知識が生かされてなく、保育所間での情報共有が不足していたことから、ヒヤリハット集で危険情報の共有に取り組むようになる。

⇒公立保育所のケガの件数      2016年度：362件    2017年度：186件  
※2016年度よりデータ収集開始

# 危険予測学習

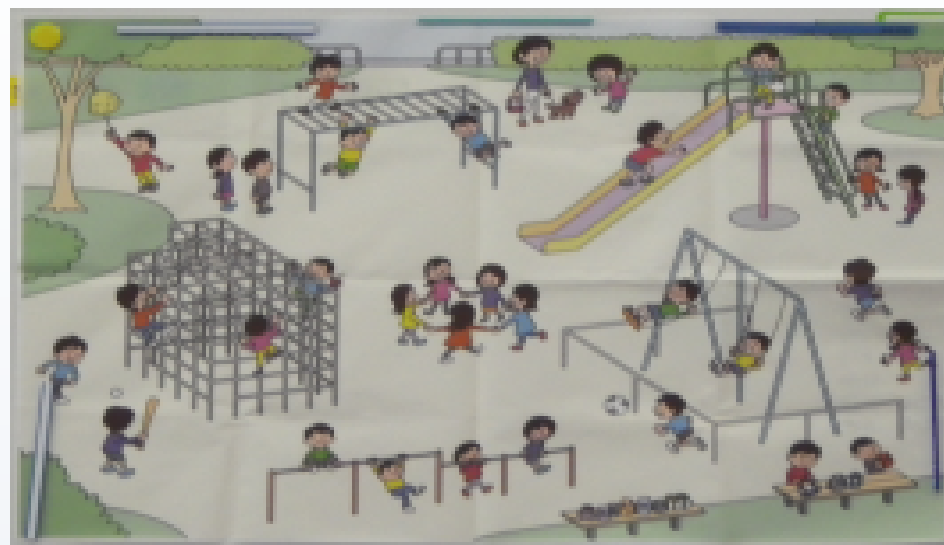
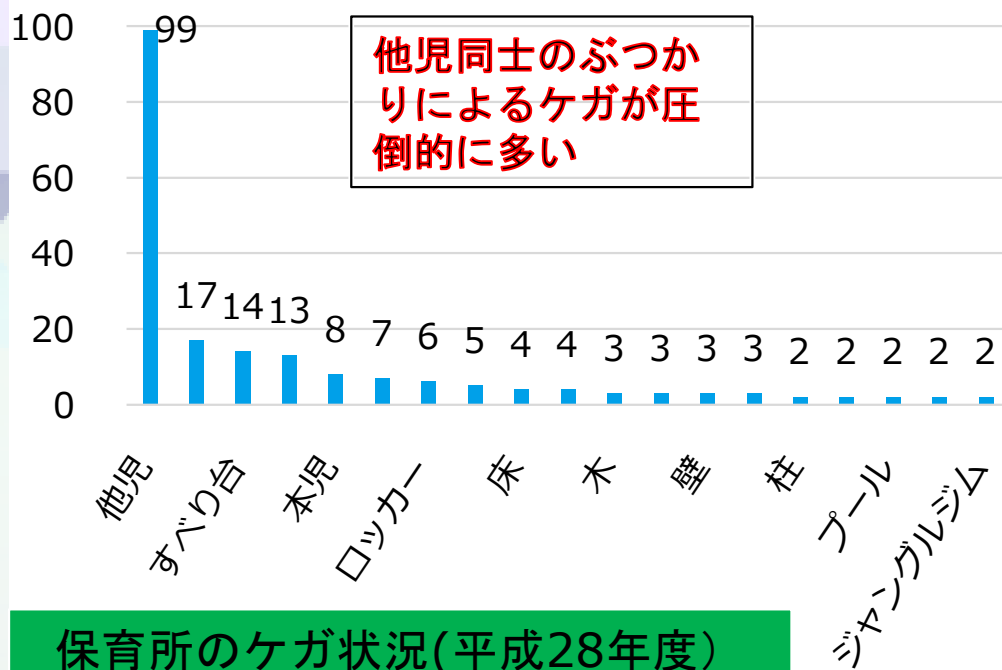
危険箇所を考え、  
対応する力を養う

## 保育所でのケガを予防する

## 危険予測学習の様子

### ①子どもへの危険予測講座

年 度	市立保育所でのケガ発生件数（全5施設）
平成28年度	362件
平成29年度	186件
平成30年度	220件（11月現在）



保育所のケガ状況(平成28年度)

# 取組み5：体幹トレーニングの実施

## 1 活動実績

2014年度	日野田保育所（4～5歳児）で実施
2015年度	全市立保育所で実施（年齢も拡大）
2016年度	すべての公立保育所で実施 週1回程度実施
2017年度	すべての公立保育所で実施 週2回程度実施
2018年度	スポーツテストを年3回実施

## 2 評価

公立保育所のケガの件数	2016年度：362件
	2017年度：186件
	2018年度：220件
	（11月現在）

※2016年度よりデータ収集開始



# 取組み6：リーフレットの配布

## 1 活動実績

- 2014年度 子どものケガの実態調査（657人）
- 2015年度 リーフレット作成 ※東洋大学の協力
- 2016年度 リーフレットを幼稚園、公立保育所、保健センター等に配布
- 2017年度 リーフレット作成・配布なし。
- 2018年度 リーフレット挿絵の変更予定（イラストを高校生に依頼済み）

乳児期



乳児期

### 子どもを事故から守ろう！

家庭でできる応急処置

種類	対応法	原因	治療	予防
熱傷	患部を流水で冷やして、患部を乾燥させ、清潔に保ちます。患部を乾燥させ、清潔に保ちます。	湯水、火傷、熱湯	患部を流水で冷やして、患部を乾燥させ、清潔に保ちます。	湯水、火傷、熱湯
切り傷	患部を流水で洗って、消毒し、絆創膏を貼ります。	鋭利な物、指、爪	患部を流水で洗って、消毒し、絆創膏を貼ります。	鋭利な物、指、爪
虫刺され	患部を流水で洗って、消毒し、患部を乾燥させ、清潔に保ちます。	蚊、蜂、アブ	患部を流水で洗って、消毒し、患部を乾燥させ、清潔に保ちます。	蚊、蜂、アブ
嘔吐	患部を流水で洗って、消毒し、患部を乾燥させ、清潔に保ちます。	嘔吐、下痢	患部を流水で洗って、消毒し、患部を乾燥させ、清潔に保ちます。	嘔吐、下痢

乳児期に起こりやすい事故と予防策

- 熱傷
- 切り傷
- 虫刺され
- 嘔吐

幼児期



幼児期

### 子どもを事故から守ろう！

家庭でできる応急処置

種類	対応法	原因	治療	予防
熱傷	患部を流水で冷やして、患部を乾燥させ、清潔に保ちます。	湯水、火傷、熱湯	患部を流水で冷やして、患部を乾燥させ、清潔に保ちます。	湯水、火傷、熱湯
切り傷	患部を流水で洗って、消毒し、絆創膏を貼ります。	鋭利な物、指、爪	患部を流水で洗って、消毒し、絆創膏を貼ります。	鋭利な物、指、爪
虫刺され	患部を流水で洗って、消毒し、患部を乾燥させ、清潔に保ちます。	蚊、蜂、アブ	患部を流水で洗って、消毒し、患部を乾燥させ、清潔に保ちます。	蚊、蜂、アブ
嘔吐	患部を流水で洗って、消毒し、患部を乾燥させ、清潔に保ちます。	嘔吐、下痢	患部を流水で洗って、消毒し、患部を乾燥させ、清潔に保ちます。	嘔吐、下痢

幼児期に起こりやすい事故と予防策

- 熱傷
- 切り傷
- 虫刺され
- 嘔吐

【データで見る 秩父市での子どものけが原因】

秩父市での子どものけが原因

原因	割合
転倒	約50%
熱傷	約20%
切り傷	約15%
虫刺され	約10%
嘔吐	約5%

# 取組み7：体験型学習の強化

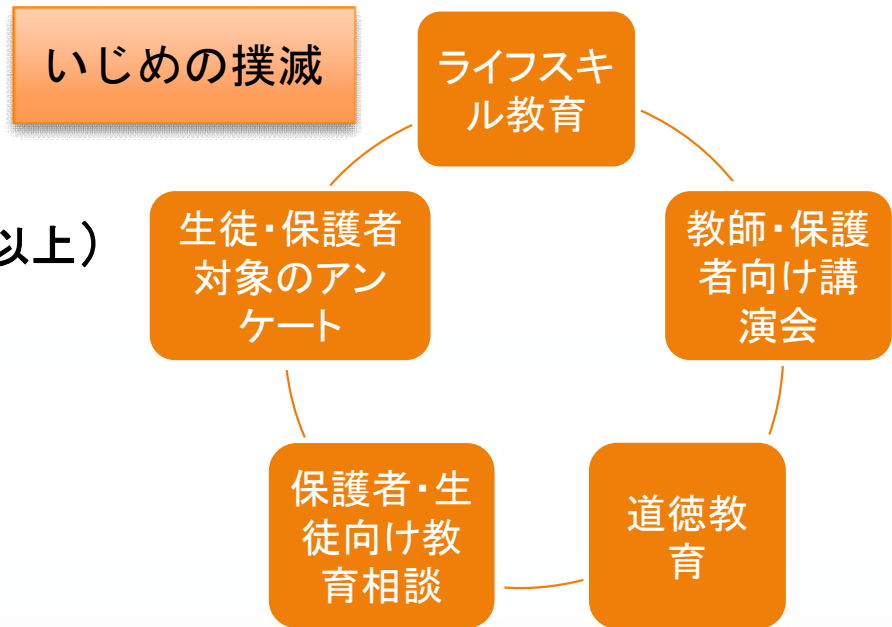
## 1 活動実績

2014・2015・2016・2017年度

ライフスキル教育の実施（全小・中学校 各1回以上）  
ネットラブル講習会（全小学校 各1回以上）

## 2 取り組み後

子ども自身に考えさせる機会を多くもつことで、他人の気持ちを考える生徒が増加した。



# 取組み 8 : スマホ利用のルール作り

## 1 活動実績

2014年度	スマホ等の使用に関する授業や講習会の実施	23回
2015年度	//	全21校
2016年度	隔年で実施(学級指導やアンケートは行っている)	
2017年度	スマホ等の使用に関する授業や講習会の実施	全21校



## 2 取り組み後

子ども、保護者、教師の3者で、守ることのできるスマートフォン利用のルールづくりに取り組むようになった。

⇒2017年ISSアンケート(平成29年度)

スマホ利用ルールを守る児童(花の木小学校6年生) 95.4%(ルール作成者31人中21人)

スマホ利用ルールを守る生徒(秩父第二中学校) 68.8%(ルール9項目の平均)

# ネットトラブル・いじめの件数

## ○ネットトラブル

2017年度 小学校が0件、中学校が1件（小学校は減少、中学校は微増）。

## ○いじめの認知件数

2017年度 小学校が44件、中学校が36件（横ばい傾向）。

図4-1

ネットトラブルの報告件数

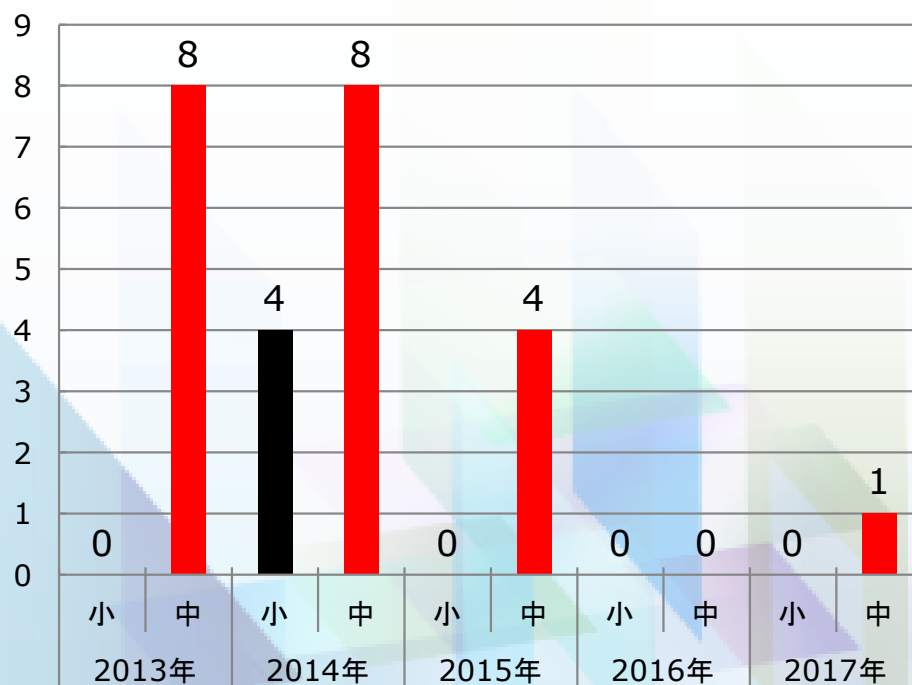
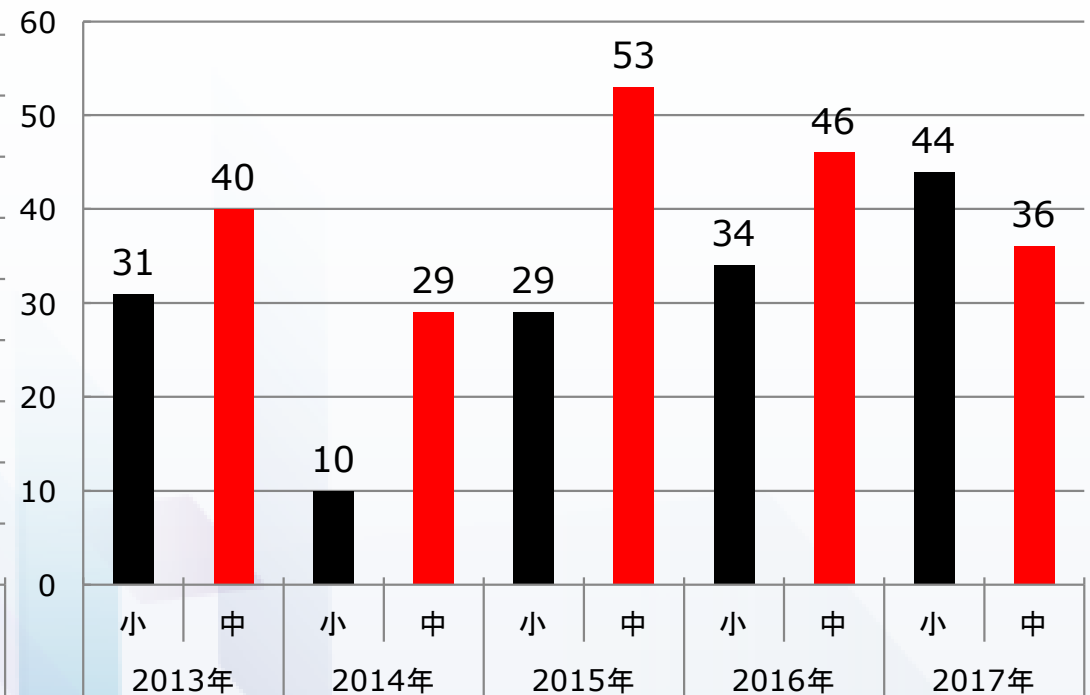


図4-2

いじめ認知件数



# 今後の取組み



# 今後の取組み

1. 公立保育所において、子どもに対し危険予測学習を引き続き実施し、その効果を今年度検証する。（2月14日出前講座実施予定）
2. 現在モデル校としてISS推進校で行っている取組みを学校と相談しながら、他の学校に対して情報提供の実施を検討。
3. 第二中学校で検証しているフェイスガードの取組みを引き続き実施し、練習時の使用について実用化を検討する。
4. 児童虐待相談件数が増加傾向にあることから、それに対する取組みを新たに研究。

# 今日からできるセーフコミュニティ

- 今年1月より「見守り放送」を開始

放送が聞こえましたら、できる限り登下校の見守りをお願いします。





ご清聴ありがとうございました！